

堺市指定管理者評価表

(評価対象期間 : 令和3年4月1日 から 令和4年3月31日 まで)

1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺市立美原文化会館	
(2) 施設の設置目的	
市民文化の創造及び振興に寄与するため	
(3) 所管部局	
文化観光局 文化部 文化課	
(4) 指定管理者名	
公益財団法人堺市文化振興財団	
(5) 指定期間	
令和2年4月1日から令和7年3月31日まで(5年間)	
(6) 主な事業	
<ul style="list-style-type: none">貸館業務をはじめとする施設の管理運営に関することホールなどを活用した文化芸術振興事業を行うこと施設設備の維持及び修繕等、保守管理に関すること消防訓練や避難経路の確保を行い緊急時の対応に備えること市から貸与を受けた備品を適切に管理すること利用者の意見を管理運営に反映させるため、アンケート等による意見聴取を行うこと	
(7) 施設分類	(8) 有料施設の有無
文化・教育施設	有 (利用料金制)
(9) 選定方法(公募・非公募の別)	
公募	
(10) 主な利用者	(11) 市内における受益対象者数
市民	不特定多数
(12) 近隣の類似施設	
SAYAKAホール	

2 管理運営状況

(1) 適正な管理運営の確保

ア 取組状況

平等利用、安全確保、個人情報の保護等	・危機管理マニュアルを整備し、公演時の避難訓練映像の視聴など安全確保に向けた取組を行った。また、消防局協力のもと、美原区役所と合同で避難訓練を行った。 ・情報セキュリティ研修を行うなど個人情報の保護に対する職員の意識付けを行った。
職員配置、人材育成、施設の維持管理等	・人権研修や接遇研修をはじめ多様な研修を実施した。 ・年度事業計画書に基づき保守点検を行うとともに、適宜不具合箇所の修繕を行うなど適切に維持管理を行った。
施設の設置目的に沿った事業の実施	・新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、仕様書における生涯学習施設活用事業数の目標は達成できなかったものの、地域団体と協働で事業を企画し、市民が文化芸術に触れる機会を創出した。
その他特筆すべき取組	・消毒や検温、利用者間の距離の確保等、新型コロナウイルス感染防止策を講じ、安全に施設を利用していただけるよう努めた。

イ 市による状況分析

会館定期利用サークル(オペラ教室等)や地元の小学生合唱団と連携した事業を企画する等、地域コミュニティを大切にしながら事業展開を行い、市民ニーズを反映した管理運営を行っている。

(2) 利用者サービスの向上

ア 利用状況

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
指定管理者名	公益財団法人 堺市文化振興財団	公益財団法人 堺市文化振興財団	公益財団法人 堺市文化振興財団	公益財団法人 堺市文化振興財団	公益財団法人 堺市文化振興財団
利用者数(単位:人)	135,685	131,637	66,464	77,999	—
稼働率(単位:%)	69.1	68.5	64.8	63.1	—
利用者満足度(単位:%)	95.0	97.0	97.0	97.0	—

イ 取組状況

サービス向上、利用促進	・「広報さかい」をはじめ様々な媒体に案内を掲載し、集客及び利用促進に努めた。 ・HPを充実させ、館の利用促進や館主催事業のPRに努めた。また、館を利用するサークルの紹介をHPで行い、館の利用者の拡充に努めた。
意見・苦情・要望等への対応	新型コロナウイルス感染防止策に係る要望等に早急に対応した。また、アンケートによる意見を事業企画や施設運営に反映し、改善に努めた。
その他特筆すべき取組	令和2年度中止した「アルテベルみはらフェスティバル」を、発表会と展示会を分散開催するなどしてコロナ禍に対応した事業を展開した。

ウ 市による状況分析

新型コロナウイルス感染症の影響により例年よりも利用者数・稼働率は低いものの、アンケートの結果分析を行って運営につなげるなど満足度は高水準で維持した。

2 管理運営状況

(3) 収支

ア 収支状況

(単位:円)

■ 指定管理業務

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (予算)
指定管理者名		公益財団法人 堺市文化振興 財団	公益財団法人 堺市文化振興 財団	公益財団法人 堺市文化振興 財団	公益財団法人 堺市文化振興 財団	公益財団法人 堺市文化振興 財団
収入	指定管理料	87,269,376	87,266,699	96,092,552	99,022,264	90,669,000
	利用料金	21,459,440	21,623,835	13,548,320	16,231,135	21,871,000
	負担金	0	0	0	0	
	その他	5,149,797	4,656,231	1,927,132	2,339,633	3,580,000
合 計		113,878,613	113,546,765	111,568,004	117,593,032	116,120,000
支出	人件費	36,521,770	36,442,350	34,130,507	33,006,009	35,394,000
	委託料	20,682,812	20,084,472	18,202,104	19,721,431	16,559,000
	総支出額に占める 委託料の割合	16.5%	17.9%	16.7%	17.2%	14.3%
	修繕費	954,840	710,204	453,442	2,196,131	1,800,000
	光熱水費	14,606,721	12,012,220	10,302,099	12,152,783	13,610,000
	その他	52,560,203	43,162,984	45,982,213	47,575,846	48,757,000
合 計		125,326,346	112,412,230	109,070,365	114,652,200	116,120,000
収支差額		-11,447,733	1,134,535	2,497,639	2,940,832	0
(市への納付金の額)		—	—	—	—	—
(徴収委託の場合の徴収額)		—	—	—	—	—

■ 自主事業 (有)

(単位:円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (予算)
収 入		2,603,545	3,917,513	1,221,941	657,767	885,000
支 出		2,616,898	4,191,226	1,484,375	706,283	883,000
収支差額		-13,353	-273,713	-262,434	-48,516	2,000
(市への納付金の額)		—	—	—	—	—

イ 取組状況

経費の縮減、経理事務	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度に続き臨時休館や時短営業を行いながらの事業実施等によりコロナ以前までの利用料金収入には達しなかったが、適切な人員配置により人件費等の経費縮減を図った。 ・指定管理料には市の休館等指示で還付した令和3年度の利用料金等相当分として市が支払った3,030,910円を含む。
------------	---

ウ 市による状況分析

人件費や光熱水費等の経費の縮減等に努めたことから、収支差額はプラスとなった。

3 目標管理、総合評価

(1) 目標管理

ア 仕様書で定める目標の達成状況

■ 適正な管理運営の確保

指標	目標	実績
ホール活用事業	6回以上	8回
生涯学習施設活用事業	12回以上	11回

■ 利用者サービスの向上

指標	目標	実績
利用者数	130,000人	77,999人
施設稼働率	70%以上	63.1%
満足度	利用者の満足度: 90% 文化芸術振興事業に対する満足度: 90%	利用者の満足度: 97.0% 文化芸術振興事業に対する満足度: 96.0%

■ 収支

指標	目標	実績
利用料金収入	22,600,000円	16,231,135円

イ 市による状況分析

新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業の中止があったものの、ホール活用事業回数の目標水準を上回ったことは評価できる。しかし、新型コロナウイルス感染症による臨時休館、利用控え等が影響し、生涯学習施設活用事業回数・利用者数・稼働率・利用料金収入は目標に届かなかった。

(2) 総合評価

目標の達成状況のほか、管理運営状況も含め、以下の評価基準により総合的に評価を行う。

	指定管理者	所管課
評価	B	B
評価の理由	新型コロナウイルス感染症の影響により、各事業の中止や休館・営業時間短縮があり、生涯学習施設活用事業回数・利用者数・稼働率・利用料金収入は目標に達しなかったが、感染対策の徹底により、安全・安心の観点から高い満足度が得られた。	新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な調整が困難になる中、「アルテベル美原フェスティバル」等地域と連携しながら市民ニーズに沿った事業を実施し、高い満足度を得られたことは評価できる。
今後の取組	コロナ禍に対応した利用者に安心していただける施設運営を積極的に発信することで、新規利用者の確保に繋げる。	安全・安心な施設運営及び新規利用者の確保に向けた広報に加え、料理室等稼働率の低い諸室のコロナ禍に対応した利用促進など、多くの方が文化芸術に触れる機会をより多く享受できるよう図りたい。

評価基準	A	仕様書で求める目標や水準を上回る管理運営がなされ、優良であるもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の管理運営がなされ、適正であるもの
	C	管理運営が仕様書で求める目標や水準を下回っており、努力が必要であるもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要であるもの